

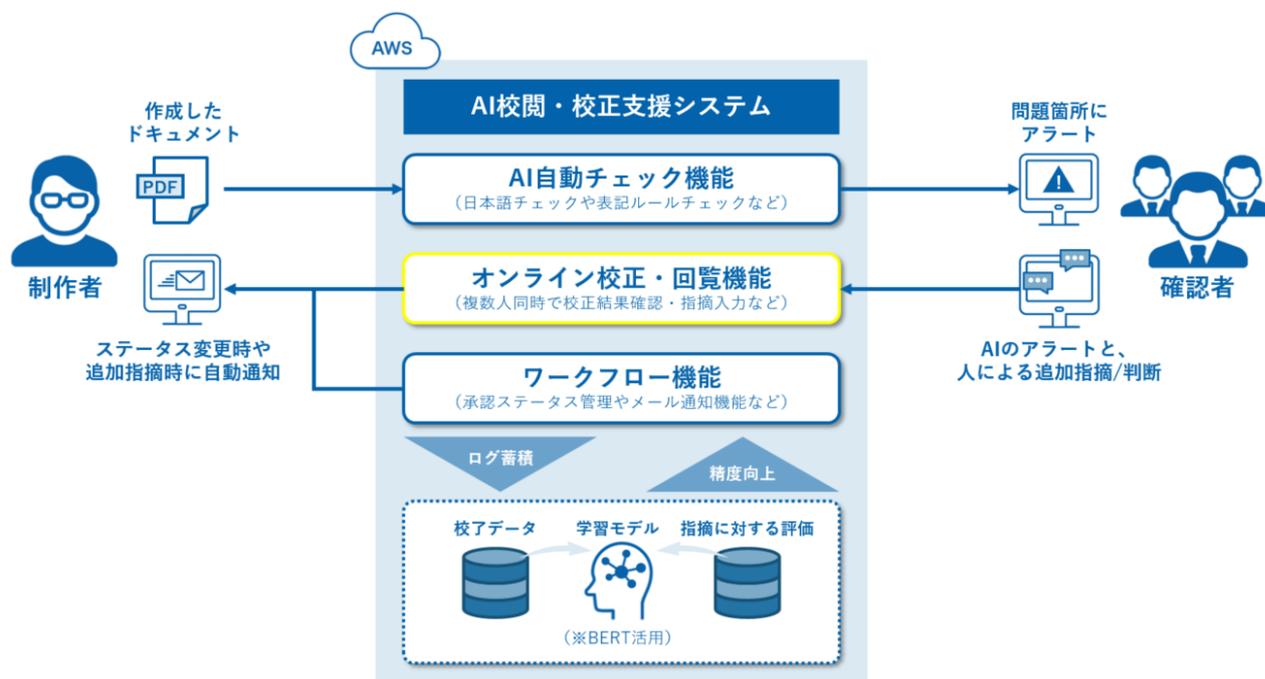
凸版印刷、AI校閲・校正の機能強化でテレワーク支援

金融業界向け AI 校閲・校正支援システムのオンライン校正・回覧機能及びコミュニケーション機能強化により、テレワークにおけるリモート校正業務を支援

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、金融業界向けの印刷物・デジタル媒体における制作から校正業務の効率化を支援する「AI 校閲・校正支援システム(以下 本サービス)」を2019年10月より提供しています。

このたび、本サービスの更なるユーザー拡大と利便性向上を図るべく、オンライン校正・回覧機能及びコミュニケーション機能を強化しました。今回のアップデートにより、赤字入れを同一ファイルに対し複数人で同時に、より手軽に行うことが可能になりました。さらに、関係者間で校正内容や疑問を共有し速やかに解決・認識統一ができます。これにより、リモートワーク下での社内回覧・校正業務をより容易に行うことが可能です。また、自動チェック機能と組み合わせることで、アップロードしたファイルに対して、問題箇所アラートが提示された状態から校正業務を開始することができます。自動チェックを元に複数人で制作ファイルを確認できるため、リモートでの確認・校正業務を支援するだけでなく、作業者の負荷削減と効率化に貢献します。

さらに、日本語誤り箇所の推測精度の向上を目的とし、学習～推論アルゴリズムに BERT(※1)を採用しました。今後、BERT の特徴である追加学習のしやすさを活かし、効率の良い精度向上を行うことが可能となります。順次、本サービスへの適応範囲を拡大していきます。



システムイメージ

■ バージョンアップの背景

媒体の制作過程においては、ファイルそのものを複数の担当者に向けて発信する確認依頼に始まり、各担当者が入れた指摘・修正指示の共有、及びその集約作業が大きな業務負荷となっていました。また、制作ファイルの共有や指示の意図を確認する必要が生じることや、人により修正指示の基準が異なることがあるため、対面でのコミュニケーションが必要となる場面も多く、リモートワーク下でこれらの業務をスムーズに実施することが課題となっていました。

今回のバージョンアップにより、リモートワークでの媒体作成におけるコミュニケーションを円滑化するだけでなく、本サービスの既存機能によるチェック基準の一元管理や自動チェック機能との相乗効果で、業務全体の更なる効率化に貢献することが可能となります。

■ 「本サービス」の特長

・AIを活用した誤表記検出が可能

AIが導入企業やその業界特有の表記や専門用語を学習することで、各企業が求めている基準に合わせて誤表記を検出します。また助詞の誤用や漢字誤変換なども文脈に合わせて判断・検出ができます。

・制作レギュレーションの管理が可能

媒体独自の制作ルールや基準をシステムが管理し、異なる制作者・管理者による品質のばらつきを防止します。媒体ごとに異なるレギュレーションを複数管理することも可能です。

・制作業務に最適なインターフェース

確認者が完成文書をチェックするだけでなく、制作段階における文章チェックに合わせたインターフェースをそれぞれ提供することで、制作時のチェックからオンラインでの赤字入れ、修正指示出しまでの制作フロー全体のデジタル化・効率化を支援します。また、テレワークの環境下でも滞りなく、オンライン上で校閲・校正のやり取りを行うことも可能です。

■ 価格

初期費用:500万円

運用費用:40万円/月

※利用条件により変動します。

■ 今後の目標

凸版印刷は今後も、金融業界を中心に「AI校閲・校正支援システム」の拡販を進め、2022年度までに関連受注を含めて累計100億円の売上を目指します。また、新手法・新技術を取り入れ、サービスのバージョンアップを行い、金融機関以外の業界に向けて、企業特有の表記や専門用語への対応とAIによる学習を進め、各業界へ展開していきます。

※1 BERT

BERT(Bidirectional Encoder Representations from Transformers)は、2018年10月にGoogleが発表した自然言語処理モデルです。自然言語処理のさまざまなタスクで従来と比べて大幅な精度向上を達成し、近年大変注目されています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上